

# 平成22年度事業計画及び収支予算について

## 平成22年度事業計画

(財)こうべ市民福祉振興協会は、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念である市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進させ、そのことにより市民福祉の向上に寄与することを目的として設立されたものであり、この目的達成に向けた事業を引き続き実施する。

平成22年度は、協会を取り巻く環境の変化や市の市民福祉に係る施策の方向を踏まえ、より一層の経営改善を図るため策定した「中期経営計画2010」(計画期間：平成20年度から平成22年度の3か年)の最終年次であり、市民福祉を振興するための重点施策を中心に、その達成に向け各種事業に取り組んでいく。また、新公益法人移行のための必要な準備を進める。

(1) 市民福祉向上のための事業については、

福祉意識の向上・啓発として、機関紙等の活用による福祉情報の提供や、福祉機器展示コーナーにおいて福祉情報の発信、福祉相談、福祉用具の展示及び福祉用具リサイクル事業などを実施する。

「しあわせの村」において、障がい者就労の推進のため、新たに障がい者就労カフェを設置するとともにユニバーサルデザインや障がい者の社会参加に対する福祉意識の向上・啓発や情報発信にも重点的に取り組む。

ボランティアの育成・活動支援や、市民の福祉活動を側面的に支援するため、福祉活動への助成を行う。

(2) 市民福祉施設の管理運営については、

サン舞子マンションは、社会福祉法人に管理運営を委託する一方、関係者との協議を進め、早期の事業終了を図る。

垂水海浜センターについては、引き続き垂水年金会館及び駐車場の管理を行う。

保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺については、安全・快適な施設の維持を目指した、改修を行うとともに、新たな運営事業者を公募し、引き続き民間経営のノウハウを活かした運営を行う。

(3) 介護保険事業の実施については、

市から「認定調査業務」及び地域包括支援センターの「巡回調査業務」を受託し、在宅福祉における公的団体として、引き続き行政の補完的役割を果たす。

(4) 「しあわせの村」の運営については、

「指定管理者」の代表法人として、民間事業者と共同事業体を構成し、「しあわせの村」の理念実現のための取り組みや全体の総合調整を行う一方、各施設の運営や設備の維持管理については、専門的能力を有する各構成員が行うことにより、市民福祉の拠点施設である「しあわせの村」の事業運営の充実を図る。

# 1 福祉意識の啓発

19百万円

市，事業者及び市民の三者の連携による市民福祉の理念への理解を深めるため，啓発事業を実施する。

## (1) 機関紙の発行

市民福祉の啓発と協会の事業紹介を目的として，機関紙「市民ふくし～しあわせの村だより」を発行する。

発行回数 年6回 発行部数 各15,000部

## (2) ホームページの運営

協会の経営情報を含め市民福祉振興のための協会の取り組み内容を幅広く情報発信するため，ホームページを運営する。

## (3) 福祉機器展示コーナーの運営

市立心身障害福祉センター内に「福祉機器展示コーナー」を設置し，福祉情報の発信，福祉に関する幅広い相談業務（福祉制度の相談，福祉用具の相談，住宅改修の相談）や福祉用具の展示を実施する。

また，福祉用具リサイクルについては，「善意の品物交換情報」掲示板により情報提供を行う。

展示福祉用具 電動ベッド，車いす，歩行器，入浴補助用具，手すりなど約500点

その他 大型ディスプレイ，パソコン等による福祉情報の提供

来場者数 4,800人

## (4) 「しあわせの村」での啓発事業

「ふれあい体験学習」の実施

社会福祉に関心を持つグループ・学校・企業などから申し込みを受け，福祉に関する講義，車いす等介助の実習，村内福祉施設での実習，車いす・アイマスク・高齢者疑似体験用具の貸し出しを行う。

車いす，アイマスク体験参加者数 1,600人

高齢者疑似体験参加者数 520人

村内施設実習参加者数 380人

介護研修の開催

引き続き，介護知識・技術の習得などを目的とした在宅介護者のための介護研修を行うとともに，今年度は新たに高齢者同士や夫婦間での介護についての研修を実施する。

年3回（1回10人）

### 「第21回こうべ福祉・健康フェア」の開催

社会福祉施設及び障がい者団体による模擬店の出店，ボランティア活動情報の提供や健康に関する正しい知識の普及・啓発を行うことにより，互いに福祉や健康について考え，語り合い，ふれあう機会として「こうべ福祉・健康フェア」を神戸市等と共に開催する。

開催日 平成22年10月3日(日)

来場者数 25,000人

### 障がい者就労カフェの設置

障がい者就労の場の拡充と来村者への福祉意識の啓発を目指し，総合センター1階において，障がい者と健常者がともに働く喫茶店を設置する。店舗の運営は，21年度に公募により選定した事業者が，協会の支援を受けて行う。

また，21年度に総合センター1階に開設した授産品・ユニバーサルデザイン製品の展示コーナー（愛称「はっぴねすコーナー」）についても，同店舗と併せて販売コーナーとして運営を行う。

### 福祉ショップ等における授産品販売機会の提供

共同事業体内で連携をとりながら，障がい者団体の運営する福祉ショップや温泉健康センター販売コーナーにおいて，土産品等とともに，商品として魅力のある市内障がい者施設の授産品の販売の場を提供する。

また，村内障がい者施設による授産品の合同販売会(年4回)やイベント実施時に併せた販売機会の提供を行う。

## 2 市民の福祉活動の振興

7百万円

市民の福祉活動への参加を促進し，市民福祉を維持し高めるための事業を行う。

### (1) 社会福祉事業・福祉活動への助成

市内で意欲的に福祉に関する活動を行うボランティアグループや団体を対象に，備品購入費等の経費を助成する。

特別助成 1件80万円（上限）

一般助成 1件50万円（上限）

### (2) ボランティアの養成を目指した講座の開催

手話講習会 22年5月～11月の木曜日に26回 30人

点訳講習会 22年5月～23年3月の金曜日に25回 20人

交流会・スキルアップ講座 年2回 20～40人

### 3 市民福祉事業の企画及び実施 2百万円

福祉を取り巻く社会情勢の変化に対応しながら，市民福祉の向上のための事業を企画し，実施していく。

市，事業者，市民及び民間団体等との協働の関係を強化する中で，協会は，事業の推進役，取りまとめ役として活動の支援に重点を置き，ユニバーサルデザイン，健康づくり，障がい者の社会参加促進など新たな事業展開について，長期的視野に立って調査・研究を行う。

また，「しあわせの村」総合センター内において実施する障がい者就労カフェ事業の成果について調査し，評価を行う。

### 4 高齢者等のための市民福祉施設の管理運営 470百万円

#### (1) サン舞子マンションの管理運営

マンションに入居している入居者に住居と健康管理・食事その他の提供を継続する。なお，マンションの管理運営は，マンションの一部（北1・2号館）の跡地でケアハウスを運営する社会福祉法人神港園に委託する。

また，今後の事業運営に関して，入居者の意向を踏まえながら，事業の終了を目指す。

管理戸数	91戸	[入居戸数 32戸，入居者数 35名（平成22年2月末現在）]
入居戸数	27戸	（平成22年度末現在見込）

#### (2) 垂水海浜センターの管理運営

市民の教養文化の向上と福祉の増進を図るため，垂水年金会館等の管理運営を行う。

施設内容	垂水年金会館（ホール，会議室，児童館等）
利用者数	99,000人
駐車場（53台）等	
利用台数	18,000台

#### (3) 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺における民間活力による運営

高齢者及び障がい者をはじめ，多数の市民に保養と健康維持の場として利用されている保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺は，引き続き民間の経営ノウハウを活かした運営を行う。

また，今後も施設を安全・良好に運営していくため，施設を一時休館し，ユニバーサルデザイン化も含めた改修を行う。

改修後の運営については，新たな事業者を公募するとともに，健康増進や福祉向上のための事業の充実を図る。

保養センター太山寺

施設内容 客室 16室 宴会場 4 会議室他 2

宿泊者数 8,100人

ラジウム温泉太山寺(なでしこの湯)

施設内容 浴場 2 (5種類), レストラン他

入浴者数 200,000人

## 5 神戸市からの委託による市民福祉事業の実施 234百万円

介護保険法に基づき,公正・中立性が要求される「認定調査業務」及び地域包括支援センターの「巡回調査業務」を市からの委託により実施する。

認定調査業務 指定市町村事務受託法人として,新規・変更ケースの認定調査  
調査件数 24,700件

巡回調査業務 市内74か所の地域包括支援センターを対象に,介護予防のケアマネジメントプランのチェック,特定高齢者の状況確認 など

## 6 総合福祉ゾーン「しあわせの村」の運営

920百万円

(うち再掲分 9百万円)

「神戸市民の福祉をまもる条例」の基本理念である「自立と連帯」の実現をめざし、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民があたたかいふれあいの中で思いやりや助け合いの心を育み「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」場としての「しあわせの村」の総合的運営を行う。

入村者数 1,912千人

### (1) 施設の管理運営

専門的能力を有する事業者と共同事業体を構成し、「指定管理者」として運営を行う。

協会は、共同事業体代表法人として、運営全体の総合調整を行うとともに、利用者の安全・安心の確保や園地の管理を行う。また、市民福祉の理念の更なる実現のため、福祉的事業や市民ふれあい事業の企画・実施等を行う。とくにユニバーサルデザインの推進，健康づくりの支援，障がい者就労支援などに取り組む。一方，各施設の運営や設備管理については，共同事業体の各構成団体が専門的能力を発揮することにより，互いに連携をとりながら，全体として市民サービスの向上や効率的な運営に取り組みつつ，市民福祉の拠点施設である「しあわせの村」の事業運営の充実を図る。

#### 【「しあわせの村共同事業体」構成】

構成団体名	主な業務分担
財団法人こうべ市民福祉振興協会	しあわせの村全体の総合調整 市民福祉の理念実現のための事業の企画・実施等 村内警備 シルバーカレッジの運営 建築物の維持管理 駐車場，ゲート，道路の維持管理 トリム園地，芝生広場，日本庭園等園地管理
財団法人神戸市開発管理事業団	設備の維持管理，建築物の点検
株式会社グリーンハウス	宿泊施設，野外活動施設の管理運営
株式会社ウエルネスサプライ	温泉健康センターの管理運営
美津濃株式会社	屋外スポーツ施設の管理運営
社団法人神戸乗馬倶楽部	馬事公苑の管理運営

## (2) ユニバーサルデザインの推進

市が進めるユニバーサルデザインの一環として、協会において策定した「ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、当事者の意見を反映しながら「しあわせの村」をユニバーサルデザインの視点から検証し、誰にでもやさしい「村」づくりを進める。

ア こうべ・だれでもトイレの拡充

イ 障がい者駐車場の案内板整備や区画線の改修等

ウ レストランにおける食器等の充実

エ 子どもや車いす利用者にも対応したウォータークーラーの設置 等  
福祉施設やボランティア団体と連携し、市の開催する啓発イベント等にも積極的に参加・協力する。

ア 「こうべユニバーサルデザインフェア2010」への参加

イ 「こうべUD大学」への協力

## (3) 健康づくりの支援

「しあわせの村」が市民の健康づくりの拠点としての機能をさらに発揮できるように、ソフト・ハード両面での充実を図る。

「保養センターひよどり」において、高齢者の健康維持増進や心身機能維持向上を目指し、軽スポーツや医師の講話等を行う健康教室やデイサービス事業を実施する。

健康教室 年10回(1回15人)      デイサービス 年147回(1回15人)

男性高齢者の食生活の改善や自立を支援することを目的に、調理の基礎知識から指導する「60歳からの男性料理教室」を実施する。

6クラス 定員72人

村内各運動施設において、高齢者・障がい者の健康増進、心身機能の維持・回復や生きがいづくり等を目的に実施する各種スポーツ教室の運営を行う。

村内で開催されるKOBE OPEN国際車いすテニストーナメント、AM KOBEカップグラウンドゴルフ大会、関西学生女子駅伝競走大会、しあわせ健康駅伝競走大会などのスポーツイベントや大会に協賛する。

市民が気軽にウォーキングによる健康づくりに取り組めるよう安全で快適な環境を維持する。

#### (4) 高齢者・障がい者の自立や社会参加への援助

「しあわせの村」の理念を実現するため、共同事業体各構成団体とも連携しながら、村内の業務の中で高齢者・障がい者の就労の場の確保を図るとともに自立や社会参加のための活動を援助する。

「しあわせの村」の運營業務に従事する職員への、高齢者・障がい者の雇用を促進する。

村内の園地管理に要する人材を(財)神戸いきいき勤労財団によるシルバー人材派遣に求め、高齢者の就労機会の確保を図る。

村内の園地管理の一部と空き缶回収・ゴミの分別収集業務及び温泉健康センター販売コーナーの清掃業務を(株)いくせいに委託し、知的障がい者の就労機会の拡大を図る。

宿泊館リネンの交換・清掃，プール・体育館の清掃及び保養センターひよどり周辺の園地管理を，村内の障がい者施設等に委託する。

客室用瓦せんべい，ポリ袋等の授産品を村内外障がい者施設等から購入する。

「しあわせの村」の自然資源等を活用したオリジナル製品を市内障がい者施設と共同で制作する。

村内に飾るバナーの製作などを村内社会福祉施設等に発注する。

障がい者就労カフェの設置（再掲）

「1 福祉意識の啓発」の(4) 参照

福祉ショップ等における授産品販売機会の提供（再掲）

「1 福祉意識の啓発」の(4) 参照

## (5) 在宅福祉・地域福祉の推進

介護研修の開催（再掲）

「1 福祉意識の啓発」の(4) 参照

「保養センターひよどり」健康教室等（再掲）

「6 総合福祉ゾーン「しあわせの村」の運営」(3) 参照

神戸市シルバーカレッジの学生が、地域社会と連携しながら、ボランティア活動を行う地域交流活動に対する支援を行うとともに、主として卒業生で結成するNPO法人「社会還元センターグループわ」とも連携し、より効果的な社会貢献活動の展開を目指す。

## (6) 市民ふれあい事業の企画及び実施

村内の施設が一体となって、すべての市民が「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」場を提供するため、市民の参画を得ながら、各種の教室・講座・イベントなどを企画し、実施する。

第20回しあわせの村まつりの実施

村内の施設や地域住民が一体となって、すべての市民が交流する場として、しあわせの村まつりを開催する。

開催日 平成22年7月31日(土)

来場者数 30,000人

第23回こうべ長寿祭の開催

スポーツや文化活動を通じて、高齢者の心身の健康保持・増進を図り、長寿社会における健康と福祉に関する市民の理解を深めることを目的として開催される「こうべ長寿祭」関連事務及び「全国健康福祉祭」への神戸市代表選手団派遣事務を行う。

ア こうべ長寿祭 平成22年4月27日～10月31日

スポーツ大会 ゲートボールほか12種目

文化行事 全国シルバー合唱コンクール(平成22年9月17日-予定)ほか3行事

イ 全国健康福祉祭 平成22年10月9日～10月12日 開催地：石川県

「第21回こうべ福祉・健康フェア」の開催（再掲）

「1 福祉意識の啓発」の(4) 参照

#### ふれあいイベントの実施

各種のイベントを企画し、村内施設の利用者や市民グループなどが参画する機会を提供するとともに、高齢者・障がい者、ボランティア、来村者などすべての市民が交流する場を提供する。

#### ア ふれあいコンサート(参加者数 800人)

公募による障がい者、高齢者、ボランティア活動を行っている音楽グループが出演するコンサートを行う。

#### イ わいわいストリート(参加者数 800人)

親子で楽しく遊べる昔あそび等を「グループわ」と共催し、世代間交流の場を提供する。

#### ウ マンスリーミニコンサート(毎月1回 参加者数 計3,600人)

総合センターにおいて、神戸市混声合唱団によるコンサートを開催する。

#### エ リサイクルバザー(年4回 参加者数 計45,000人)

資源の有効活用を目的に、市民出店者による不用品等のリサイクルバザーを開催する。

#### オ かえっこバザール(参加者数 800人)

シルバーカレッジにおいて、学生や「グループわ」との協働により、使わなくなった玩具の交換等を行い世代間交流の場を提供する。

#### カ 緑のオリエンテーリング(年2回 計800人)

参加者が村の豊かな自然環境を体感しながら、クイズラリーなどを楽しめるオリエンテーリングを開催する。

など

#### 市民公募型イベントの実施(年2回)

来村者が気軽に参加し楽しめるとともに、福祉や健康の増進並びにしあわせの村の活性化につながるイベント企画を公募し、運営経費の一定額を助成する。

#### ファミリー日帰りキャンプの実施(参加者数 100人)

身体・知的障がい児とその家族がボランティアとともにゲームやキャンプを楽しむデイキャンプを実施する。

親子料理教室の開催（参加者数 60人）

子どもが食材に触れ、楽しみながら食に関心を持つとともに、料理を通じた親子のふれあいの場を提供する。

「ふれあい体験学習」の実施（再掲）

「1 福祉意識の啓発」の(4) 参照

## (7) ボランティアの養成と活動推進

「しあわせの村」の理念を実現するには、村でのボランティア活動の果たす役割も大きいことから、各種のボランティア養成に係る講習会を開催するとともにボランティアが活動しやすい環境の整備や活動機会を積極的に提供する。

ボランティアの養成を目指した講座の開催（再掲）

「2 市民の福祉活動の振興」の(2)参照

ボランティア活動の推進

協会が主催する事業にボランティアの参加を広く求め、活動の場の提供とボランティア活動の支援を行う。

ア 障がい児、障がい者向けスポーツ教室の指導補助

イ 見学者への村内施設のガイド

ウ 各種イベントの運営補助

エ 花・緑ボランティアによる「村」の緑化

オ 神戸市シルバーカレッジ学生などによる地域活動

カ 村内で活動している点訳サークル「シックスポイント」、手話サークル「すずらん」への支援

## (8) 魅力ある緑地の維持管理

一年中花が見られ、市民の憩いとリフレッシュの場として人気が高い「村」の緑地について、花・緑ボランティアやNPO団体との連携を図りながら、引き続き快適な空間として良好に維持管理する。

また、「しあわせの村」の豊かな自然環境を生かしたイベントや月見の夕べなど日本庭園の夜間開放、バードウォッチングガイド冊子の頒布、野鳥観察会などを行い、季節を感じる話題づくりを通じた広報活動により村のイメージアップを図る。

## (9) 神戸市シルバーカレッジの管理運営

高齢者の豊富な経験を活かして自らの可能性を拓き、その成果を社会に還元することを旨とする学習・交流の場として、シルバーカレッジの管理運営を行う。

学 生 数	1,260人(1学年 420人)
学 習 期 間	3年間
入 学 資 格	市内に住所を有する57歳以上の方
コ ー ス	健康福祉コース，国際交流・協力コース，生活環境コース， 総合芸術コース(美術・工芸，音楽文化，園芸，食文化)
授 業	専門・共通・スポーツ授業を組み合わせたカリキュラム。 (授業は概ね週2日，年間60日程度)
受 講 料	健康福祉，国際交流・協力，生活環境の各コース 年額 50,000円 総合芸術コース 年額 56,000円
社会還元	在校生のボランティアグループや卒業生を中心とするNPO法人「社会還元センターグループわ」による社会還元活動を支援する。 会員数 1,177人(平成22年1月現在)
そ の 他	新たにサマースクール(年1回)を開催するとともに，まちかどキャンパス(年1回)や一般聴講(年5回)を実施し，広く市民に学習機会を提供する。

## (10) 利用促進の取り組み

「しあわせの村」への理解をより一層深めていただくとともに，来村誘致や魅力づくりを行う。

全村的な入村者アンケート調査を実施するとともに，共同事業体各構成団体が運営施設において把握した意見やアンケート結果についても，情報を共有し，具体的な改善策やサービス向上策を検討し，利用者満足度の向上に取り組む。

新聞・情報誌や各種イベント等の機会を利用した広報活動等

21年度にリニューアルしたホームページの活用

来村者のニーズに応じた広報・利用案内の充実

温泉健康センター内に，地場野菜や果物，鮮魚，パン，雑貨等とともに，授産品を販売するコーナーを新たに設置する。

## 7 業務・経営改善の推進

協会では、平成20年度から3か年の基本方針及びこれに基づく重点施策を示した「中期経営計画2010」を策定し、経営の改善に取り組んでいる。

中期経営計画の最終年次にあたる平成22年度は、引き続き具体的な年次行動計画（アクションプラン）を策定し、PDCAサイクルによる進行管理のもと経営の改善に取り組む。

また、新公益法人への移行をふまえて、今後の事業展開や経営基盤の強化、組織運営のあり方を含めた新たな中期経営計画を策定する。